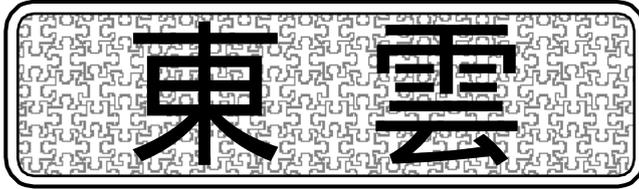


11月の主な行事

- 1日 全校企画2021
- 2日~12日 三者懇談(3年)
- 10日~12日 オリンピック教室(2年)
- 18日 あゆみ診断テスト
- 30日 実力テスト(3年)

<教育目標> 自律 自啓 自尊 他尊



http://kanuma-school.ed.jp/j-higashi/

【発行者】

栃木県鹿沼市立東中学校
 住所 鹿沼市府中町393
 電話 0289-62-7225
 FAX 0289-62-7226
 校長 斎藤美智雄

雁の群れのよつに
学校長

「春はあけぼの」ではじまる清少納言の随筆『枕草子』の第一段では、四季折々の風情が述べられています。「秋」のところでは、「秋は夕暮れ。…鳥の寝所へ行くとして三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐさえあはれなり。まいて雁などの連ねたるがいと小さく見ゆるはいとをかし。…」とあります。今から千年以上も前ですが、感性の豊かさを感じずにはいられません。

ところで、その雁は冬を越すために南に向かう時に、V字型の編隊を組んで飛んでいきますが、どうしてでしょうか。

それは、V字で飛ぶと、一羽で飛ぶよりも7割も遠くまで飛べるからという事です。前の雁が羽ばたくと、後続の雁のために、上昇気流を作り出すことができるので、後続の雁は楽に飛ぶことができます。後ろの雁は、ガーガー鳴いて前の雁を励まします。先頭の雁は疲れると、最後尾に回って別の雁と交代します。

仲間同士、助け合って飛ぶことによつて大きな力を作り出し、一羽では考えられないくらい遠くまで飛んでいくことが出来ることは凄いことです。

このことは、人間も同じではないでしょうか。同じ目標をもって一緒に進む人、一緒に頑張る人がいると、信じられないくらいのパワーを発揮できるものです。

今生徒たちは、しなのめ祭の全校企画に取り組んでいます。学級は、一人一人が役割を担い、その責任を果たし、至らないところは補い合い、助け合つて大きな力が発

揮されます。その学級が集まつて学校になっています。東中だからこそできることに939人が力を合わせて挑戦しています。

全校企画2021

東中生全員の力を合わせ、大きな偉業にチャレンジする全校企画。昨年はコロナ禍で元気を失っている方を元気づけようと、2万4千羽以上の鶴を祈りを込めて折り、メッセージを作成しました。今年はペットボトルキャップを集め、ワクチンに換えて、医療が受けられずに亡くなっていく命を救おうという目標を立てました。また持続可能な社会作りにも取り組むため、SDGsを学ぶという目標も立てました。



御家庭や地域の皆様の御協力を得て、九月二四日時点で目標の13万個に達成しました。御協力に感謝申し上げます。現在は、さらに多くの人を救うため、目標を25万個に修正し、取り組んでいます。現在集めているペットボトルキャップはワクチンに変える前に、色分けしてアート作品にします。校内では十一月一日にそのお披露目をします。どの様な作品ができるか私たちも完成を楽しみにしています。その後、辰巳通り沿いのフェンスに掲示する予定です。どうぞ御期待ください。

生徒会担当

子供 夢・アートアカデミー

十月十一日、文化芸術による子供育成総合事業「子供 夢・アートアカデミー」の講師に、彫刻家の吉野毅先生をお招きし、

2年生で授業を行いました。

この事業は、芸術上の功績顕著な芸術家である「日本芸術院会員」が学校を訪問し、講話や実技披露・指導を行うことで、子供たちに文化芸術活動の素晴らしさを実感させ、子供たちに夢をもって生きる事の大切さや、文化芸術を愛する心を育てることを目的としています。



講師の吉野毅さんから、なぜ彫刻の道に進んだのか、彫刻の面白さなど、ご自身のエピソードを交えながら、楽しく粘土でオリジナルの土偶や埴輪作りを教えていただきました。日本を代表する方からの御指導は、とても貴重な時間になったことと思います。

美術科主任

バトンをつなぐ

今年の生徒会選挙は、コロナ禍における新しい選挙の形として、九月二十八日にオンライン演説、二十九日にデジタル投票で実施しました。結果は次の通りです。

会長 片倉朱里さん

副会長 金林奏汰さん
福田佑太さん

書記・会計
 山口大翔さん
 倉持紗羅さん
 金子和博さん
 宮本歩夢さん
 田中静乃さん
 渡邊みゆさん

事務室から...毎月一五日が学校集金の引き落とし日になります。

新・旧生徒会長からのメッセージを紹介します。

前会長メッセージ

私は誰もが毎日自己ベストを更新していけるような学校を目指して活動に取り組んで参りました。新役員の皆さんには生徒全員が輝けるよりよい東中を目指して欲しいと思います。 石原杏優

新会長メッセージ

希望と活気、笑顔であふれるあかりの灯る東中を目指してさらなる発展のために努力していきたいと思えます。 新生徒会一同、手を取り合いながら頑張ります。 片倉朱里

校内研究授業

5年前より鹿沼市教育委員会と共に、授業力向上事業」として、国語・数学・英語の3教科で授業改善の研究を進めています。また「大研究授業」として年に3回、全教科参加の校内研究授業を行っています。目的は教師の指導力向上を目指し、各教科の研究授業を通して、思考力・判断力・表現力を高める指導の在り方や工夫・改善等について学び合うことです。



十月五日(火)に、鹿沼市教育委員会の指導主事を3名講師として招き、「授業力向上事業」と

「大研究授業」をコラボさせ校内研究授業を行いました。生徒は、タブレットを活用し、真剣に話を聞き、意欲的に話し合い、学びを深めています。本研修での学びを生かし、各教科において、生徒の確かな学力育成に努めて参ります。

学習指導主任

進学説明会

十月四日(月)に進学説明会を実施し、県立高校や私立高校の入試手続き等について説明しました。新型コロナウイルス感染症への対策として、保護者は体育館、生徒は教室で説明を聞きました。生徒からは「自分の進路について改めてじっくり考えることができました。」

「受検に備えた学習だけでなく、進路情報を集めたいと思います。」、「二者懇談など、親も自分のためにいろいろ協力してくれているので、資料を参考に一緒に決めていきたいです。」といった意見が得られました。十一月からの三者懇談に向けて、準備を始めるきっかけになるよう期待しています。

今回の説明会が、本校で育成したい将来設計能力につながり、お子様が主体的に進路選択ができるよう望んでいます。限られた時間でしたが、たくさんの方の保護者の方に参加していただき、ありがとうございました。

学級活動を中心に行っているキャリアパスポートや2年生で行うマイチャレンジなど、自分の特性や興味を考えるきっかけはたくさんあります。保護者の暖かな励ましの言葉は、将来について考えるきっかけとなります。時には御自身の思い出話を交えながら、秋の夜長を親子の時間にしていただけたら幸いです。



進路指導主事

県少年の主張発表大会 最優秀賞

3年生の石田真愛さんが校内少年の主張大会(七月七日実施)で、最優秀賞に選ばれ、栃木県少年の主張発表県大会(九月十八日実施)で、見事、最優秀賞に輝きました。その結果、関東・甲信越ブロックに推薦され、県での発表動画で審査が行われ、上位3名は、少年の主張全国大会に推薦されるそうです。みんなで応援しましょう!



国語科主任

信頼と勇気づけのクラスづくり

十月六日(水)に「信頼と勇気づけのクラスづくり」をテーマに、アドラー心理学の第一人者で、本校の卒業生でもある、ヒューマン・ギルド代表の岩井俊憲氏を講師として、職員研修を実施しました。生徒の自己肯定感・自己有用感・自尊感情を高めるための指導の在り方を学び、生徒理解に生かすことが目的です。本研修で、よりよい人間関係を育むには、「相互尊敬・相互信頼」の「ヨコの人間関係」を築き上げることであり、そのためにも、「勇気づけ」が重要なキーワードになることを学びました。また、この「勇気づけ」を、クラスづくりに生かすためには、ダメ出しではなく、ヨイ出しをすること。感謝を表明すること。聞き上手になること。相手の進歩、成長を認めること。失敗を許容すること。を意識して実践することの大切さを再確認しました。「感謝は最もコストが安く、最も効果の高い勇気づけのツールである」というフレーズが印象的でした。明日からのクラスづくりに、本研修で学んだことを生かしたいと思えます。

教頭

